

情報セキュリティと情報倫理

初回説明

2022/09/30

概要

- ◎全学共通科目 1 年生後期
- ◎金曜日五時限 (16:20-17:50)
- ◎担当：
 - ☆榎田秀夫・永井孝幸・森真幸 (情報科学センター)
- ◎評価方法 (予定)
 - ☆毎回のミニレポート (20%)
 - ⇒講義ビデオを前提とした課題内容 (予定)
 - ☆1 回程度の課題レポート (30%)
 - ☆期末テスト (50%)
- ◎参考書：情報セキュリティと情報倫理 (山田恒夫著)
 - ☆ISBN978-4-595-31897-9 C1355 ¥2600E
- ◎参考書：IT 社会の法と倫理 第二版 (サラ・パース著)
 - ☆ISBN978-4-89471-430-4 C3032 ¥3900E

Moodle システム

本講義での利用形態

Moodle システム

<https://moodle.cis.kit.ac.jp/course/view.php?id=56243>

[講義内容提示]

- ◎リアルタイム配信 (Webex Meetings) 用 URL リンク提示
 - ☆ハイフレックス型 or 教員部屋からの配信
 - ☆録画ビデオは後日提供予定
- ◎オンデマンドビデオ配信 URL リンク提示
 - ☆Nextcloud の利用のため、原則、提示後 2 週間のみ有効
- ◎講義時配付資料あるいは使用スライドの提示 (いずれの場合も原則 PDF ファイル)
 - ☆ただし (著作権の関係等で) 一部を除く
 - ☆原則として講義日の遅くとも前日には提示予定
- ◎課題提示およびレポート提出

注意事項

- ◎Moodle への登録 ≠ 受講登録
- ◎受講登録は別途行うこと！

学務課 Web ページの「受講登録システム」
<https://www.cis.kit.ac.jp/~gakumuka/AttendCourse/index.php>

- ☆受講登録確定後に受講登録に基づいて Moodle コースへの登録 (同期化処理) を行う予定
- ☆当面は登録キーによる登録

(意図的な白紙ページ)

講義概要

2022年9月29日 京都工芸繊維大学 情報セキュリティと情報倫理 (2022年度)

9

授業の目的・概要 (シラバスより)

- ◎ 情報化が進化した社会において、情報機器と情報通信ネットワークを利用した情報のやりとりは、日常生活や仕事に必要なものである。
- ◎ そのような情報社会において、安全かつ安心に暮らすため
 - ☆ 情報セキュリティ技術が果たしている役割とその機能について理解する。
 - ☆ 各自が情報の受け手であると同時に送り手であることを認識する。
 - ☆ 情報を扱うときに生じる責任、適正な情報のやりとりをするために必要なルールや心構え、つまり、情報に関連した法規や情報モラルについて理解する。

2022年9月29日 京都工芸繊維大学 情報セキュリティと情報倫理 (2022年度)

10

学習教育目標 (シラバスより)

1. 情報技術が社会にもたらした正の側面と負の側面について説明できる。
2. 情報技術の観点からプライバシーと個人情報について説明できる。
3. コンピュータシステムの信頼性・安全性が社会に及ぼす影響と不具合の発生要因について説明できる。
4. ソフトウェア・コンテンツなどが有する権利について知的所有権の枠組みで説明できる。
5. インターネットおよびコンピュータを利用した犯罪の実例と防止策について説明できる。
6. 知的所有権や個人情報、不正アクセス行為の禁止に関する法律など、情報セキュリティに関連した法律について説明できる。
7. 情報セキュリティマネジメントシステムに基づいた情報セキュリティ体制について説明できる。
8. コンピュータの専門家が直面する倫理的な問題の事例と、技術者倫理の原則について説明できる。
9. コンピュータシステムを不正な利用から防御する手段について説明できる。
10. 暗号技術の基礎と暗号技術を用いた認証方式について理解する。
11. コンピュータウィルスの実例とそれらが利用している技術について説明できる。
12. ソフトウェアに起因する脆弱性の事例と、インシデントの発生原因となるコンピュータシステムの技術的な問題について説明できる。

2022年9月29日 京都工芸繊維大学 情報セキュリティと情報倫理 (2022年度)

11